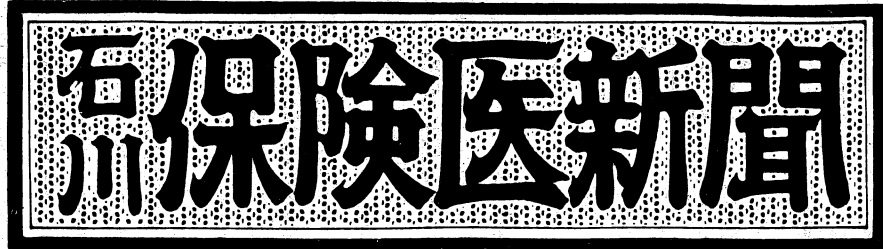


保険医グループ保険

第3次募集

6月8日より募集開始



発行所 石川県保険医協会 金沢市尾張町1丁目9番11号...

<表1> 受診者の一部負担金について

Table with 5 columns: 一般診査, 精密検査, 胃がん診査, 子宮がん診査, 徴収しない. Rows show different payment categories and their counts.

<表2> 一般診査の診査項目

Table with 2 columns: 項目 (尿中ウロビクノゲン定性検査, 尿中潜血, etc.), 割合 (18/30 (60%), etc.).

<表3> 保健婦等の増員計画

Table with 3 columns: 町名 (鶴来町, 野々市町, etc.), 保健婦増員数 (+1), 養護士/看護婦増員数 (+1/-1).

<表4> 保健婦一人当りの人口

Table with 3 columns: 人口範囲 (5,000人未満, etc.), 5ヶ所数 (5, 11, 3, 4, 3, 2).

保健事業と市町村の対応

石川協会の調査より

30市町村が回答

保健事業の中でも開業医の果たす役割が大きい健康教育、健康相談、健康診査の五十八年度計画について、当協会より県下四十一市町村にわたって調査を依頼したところ三〇市町村から回答が寄せられた。(回答率 七三・二%)

自治体の姿勢

健康教育は昨年まで実施してなかった自治体も含めて全市町村で計画されている。しかし、その開催回数が人口規模に対する厚生省の実施基準を下回っている自治体が四ヶ所(野々市町、富来町、能都町、珠洲市)あり、又、

開業医との関わりは

健康診査の一部負担金徴収については表1のとおりである。一般診査、精密検査、胃がん診査、子宮がん診査のいずれも無料の自治体は十二ヶ所あり、精密診査も無料の自治体は二十一ヶ所あります。

診査項目の拡大

健康診査の目的はがん、脳卒中、心臓病など成人病を予防する対策の一環として、早期発見あるいは必要な人に検査や受療をすすめることにあります。それゆえ受診率を高めるためには一般診査の一〇〇円の負担はもとより精密診査や胃がん、子宮がん診査の一部負担は徴収しないことが望ましい。今後、検診事業の中で費用負担なしの自治体が増加するよう期待するものであります。

保健婦の増員計画は

保健事業の中心的役割を担う保健婦の増員計画は鶴来町、野々市町、高松町、柳田村、志賀町、輪島市でそれぞれ保健婦が一名増となりますが、その他の市町村の増員計画はありません。(表3)

を講師として開催する自治体は僅か三ヶ所(高松町、柳田村、七尾市)しかありませんでした。歯科保健の重要性の認識不足と共に歯科医師会からの積極的な参加が望まれます。

方、一般診査の一部負担一〇〇円を徴収する自治体は四ヶ所(中島町、能都町、柳田村、小松市)あり、実施機関により一部負担に格差を設けているのは野々市町の子宮がん検診だけあります。

て、ウロビリンゲン定性検査二十八、潜血検査二十二、胸部X線写真十三、血色素量八、血液検査七ヶ所の自治体で実施することになっていきます。(表2)

「比例代表制である以上、今は政権政党の上位にランクされなければ話にならない。田中閣内閣の発想らしいが、集まった、いわゆる党員数によってランクが決められるとすると当然、他業界との競争になる。医師の声を政治に反映させるために医師会も学術団体云々よりも単に一つの職業団体と考えれば何も深刻がることはない。とにかく現実には力は力です。」

「医師会という『権力機構』が単なる票集めでなく、入党を推めたのは、昔の踏み絵と一緒にです。思想信条の束縛にならないのですか。入党者の氏名を医師会が知って恐怖政治にならないよう呉々も注意してほしい。」

医心凡話

沖縄県医師会会長・大浜万米氏の参議院議員選挙から見た自民党入党問題で、あちらこちらからいろいろの声がかかってきました。

「今回の保健事業に関する実態調査にご協力くださいました各市町村に紙上をかりて御礼申し上げます。」

「自由開業制の中で、国民の福祉と健康を医師が主導権を取って守り抜くための最短距離を狙った意図は分かるのですが、そのことが結果的に中曾根首相の軍拡・核路線に手を貸すハメにならないかと心配なんです。こういう考えの者はどうすれば良いのでしょうか。」

審査アンケートにご協力下さい

保険医協会は充足以来一貫して審査問題に取り組んできました。その間、社保国保合同審査委員会の発足を始めとして、最近では不当な返戻査定等の減少等、以前とは比較にならないくらい改善がみられております。

しかし私達をとりまく環境は日増しにきびしくなっています。医療費の高騰とは逆に経済は低成長がつづき、保険ファンドが云々されるようになり、老人保健法にみられるように医療費抑制策がより一層露骨になっていきます。厚生省では十四兆円の総医療費を

これ以上増やさないために、審査の強化をはじめ、あらゆる手段を講じていくといわれております。

このような情勢の中で私達は真に正しい医療を守るため、不当な審査には戦わなければならないと思っております。

ここにいま一度、審査問題を考える資料として皆様の近況をお知らせ願いたく、審査に関するアンケートを実施することに致しました。ぜひともご協力くださるようお願い致します。

審査委員改選にあたって

持論

基金・国保の改選が間もなく行われ、六月より新しい審査委員会が発足する。私達開業保険医にとって、国民皆保険の下ではほとんど保険診療であり、その審査委員会の機能・構成に関心をもちるのは当然である。保険医が医学的良心をかけて行った診療が訳のわからぬ理由で減点され、返戻されてくる。再審査請求を出しても原審通りとなつて返ってくる。文句をつける機会もなく、このことに関する怒りを経験しなかつた保険医は稀である。国民皆保険下では、保険診療こそ日本の医療水準を示すものである。私達の診療に対して、「保険診療」という名目で経済審査が行われるならば、国民も医師も甚だ迷惑である。

審査委員の一人一人が厚生省や健保連の指向する低医療費政策・経済審査にどれだけ妥協して審査を行うか。それとも、あくまで保険医の立場を理解し、医学的良心を貫くか、その度合を示すのが外来本人の平均点

十位、石川十二位、福井三十九位である。一枚のレセプトでの書面審査にはおのずと限界がある。だから平均点の高い医師、傾向診療の医師をチエックするという方針かも知れない

医療費抑制策と保険審査

数ではなからうか。五十七年十二月分では、大阪一、五六二点を最高に八七二点まであり、富山十九位、福井二十二位、石川は二十八位である。又、歯科では、福岡一、八七九点を最高に一、〇四八点まであり、富山

が、これでは医師の主体性を無視することになり易い。人間には傾向があるのが当然である。高点数、傾向診療というだけで「切り捨て御免」にならないように望みたい。

審査は療養担当規則、疑義解釈等によって、事務点検における過誤補正と同様な意味において、診療内容についても査定が行われていると思われる。たとえ担当規則その他諸規定があるにせよ、個々の診療内容についての解釈は相当幅の広いものであり、審査にあたって「医学的良心による判断」が強調されるわけである。医療費抑制策に乗って保険者返戻が多く、これに苦慮しているという話も聞かれるが、医療は生命と直接かかわり合うわけで、法で処理出来ない多くの問題を投げかけてくる。この問題を明示できるのは事務職員でなく、医師である審査員一人一人であろう。

暖房料問題に関して

県医師会から再回答

本紙前号に紹介したように県医師会に対して、暖房料に関する県議会請願を申し入れたところ、「協会からの要請は受け付けない」との回答が寄せられた。

当協会ではこれに対して、再度申し入れ、暖房料問題に関する見解を求めた結果、次の回答が寄せられました。

私達は今回の県医師会の考えをふまえて、引きつづき暖房料問題に取り組みつもりです。

石川県保険医協会
会長 後藤 田博之殿

昭和五十八年四月十五日

石川県医師会長 永田 良作

寒冷地療養担当手当に関するご要望について

標記に関し貴会より県議会に対し請願書提出を本会より行うよう要望のあった件につきましては、去る三月十一日ご回答申し上げましたが、回答の真意はこのような問題に関しては、会相互のやりとりではお互いに円滑にいかない場合が考えられますので、会員の声として地区医師会又は本会に要望いただいた方が適切と判断いたしましたためであります。

もとより暖房料については本会としても無関心ではなく、かつて中部医師会連合を通じて日本医師会に申し入れたこともあり、これが実現することは望ましいことでもあります。然し財政事情極めて厳しい情勢下にある今日、たとえ請願したとしても極めて効果は薄いと考えられますので、適切な時期を見て請願すべきであると存じますのでご了承下さるようお願いいたします。

「沢内村奮戦記」を読んで

鹿島郡 辻口 昇

厚生省が老人保健法制定に当って打出した医療以外の保健事業としての健康手帳の交

付、健康教育、健康相談、健康診査、機能訓練、訪問指導等いわゆる地域医療や包括医療

療システム化の推進によって老人医療費の節減を図ろうとする発想の原点が、沢内村の生命行政「哲学」にある。換言すれば今や沢内村は老人保健法の生きた教科書として多くの話題を投げかけているが、この「沢内村奮戦記」を一読して先ず感じるのは、沢内村はすばらしい村だ。それは村長も病院長も保健婦も、そして健康管理課のスタッフ達も皆、正に「生命を守る村民」になり切って二十五年間奮戦して来た輝かしい「戦果」であると云えよう。

豪雪と貧困、多病の人口五千足らずの小さな村だったから、たゞ一つの村立病院しかなかったから出来たのだと云う見方もあるかもしれないが、あらゆる困難を克服して邁進して来た尊い努力の賜物、為せば成るの立派な見本として大いに学ぶべきであろう。

住民の生命を守る村

沢内村奮戦記

定価 一、六〇〇円

◎老人保健法実施後三ヶ月間（二月～四月）の実態アンケートを病院対象に行いますので、ぜひご協力下さい。

紙面の都合で多くを紹介出来ないが、広聴と広報による住民との信頼関係づくり、医師のために患者があるのではなく、患者のために医師があるという謙虚な気持、医療活動の基本方針は時間をかけた対話である。対話がなければ未来に結びつかない。剣を振り

◎沢内村奮戦記は保険医協会事務局にて取り扱っています。お申込みは左記まで一報下さい。

電話〇七六二二(五三三三番)

研究会報告

網膜の血管病変について

眼底カメラ撮り方のコツ

協会学術部員 藤村和昌

無散瞳型眼底カメラは、撮影時の眼底の観察は困難であり、続けての撮影には10分以上の間隔をおく必要があるという短所がありますが、ミドリン点眼は不要であり、緑内障発作の誘発はありません。被検者はまぶしくないで手軽に撮れるようです。

散瞳型カメラの場合は散瞳剤の点眼が必要ですが、その際、緑内障発作の有無について、家族歴、虹彩視の有無など問診します。あやしい時はマイルドなネオシネジンを発作が起きたら、ダイアモクス内服とピロカルピンの頻回点眼で寛解するかもしれませんが、眼科転医の必要なこともあります。

撮影の要領としては、検査側の接眼視度を調節するのが大切です。これを忘れて撮ると、観察時にピントを合わせず、出来上りはピンボケになることがあります。そのほか次のような注意点があります。散瞳型では散瞳剤を十分に効かせる。眼鏡や睫毛で光を遮らないよう、下顎を前へ出して、それでもダメなら上眼瞼を持ち上げる。角膜の乾燥に注意して瞬目させる。

協会の行事案内

診療なんでも懇談会

- △テーマ 「尿路性器の悪性腫瘍」
—早期発見のために—
- △講師 金沢大学医学部附属病院泌尿器科講師
三崎俊光先生
- △日時 5月27日(金) 午後7時半
- △会場 石川県医師会館3階相談室
- △協賛 大日本製薬株式会社

医療従事者のための講習会

- △テーマ 「よりよい看護をめざして」
—応対、仕事の上手な進め方—
- △講師 金沢大学医療技術短期大学看護学科助教授
高間静子先生

〔小松会場〕

- △とき 5月25日(水) 午後7時～9時
- △ところ 小松市公会堂第1集会室
(小松市役所横)

〔加賀会場〕

- △とき 5月26日(木) 午後7時～9時
- △ところ 加賀市福祉保健センター
3階15会議室 (加賀市役所前)

〔輪島会場〕

- △とき 6月16日(木) 午後7時～9時
- △ところ 輪島市農協会館2階研修室

〔七尾会場〕

- △とき 6月23日(木) 午後7時～9時
- △ところ 公立能登総合病院2階会議室

〔金沢会場〕

- △とき 6月24日(金) 午後7時～9時
- △ところ 石川県医師会館4階ホール

討論会でも多くの活発な発言があり、放射線の胎児に与える影響、デチルステルベストロール、クロールサイクリン等に関する質疑応答あり、これ又、有益な勉強でありました。
(小松市 荒木良平 記)

妊婦とくすり

国立金沢病院産婦人科部長

高邑昌輔

四月二十二日午後七時半より、小松市医師会館において、国立金沢病院産婦人科部長・高邑昌輔先生をお迎えして、「妊婦と薬剤」をテーマに約一時間半の講演があり、引き続き、同行の金沢市、林茂

先生の司会で、関連討論会がありました。一体、サリドマイド投与により発生したあざらし症、その他が、母体に加えられた外的影響が胎児に及ぶことは少いであろうという、これまで

の誤まった医学的常識を覆して、様々の問題を私達に提起すると共に、社会的にも過剰なまでの注目を喚起し、妊婦のみならず、私達医師も、流動する時々の試験結果にとまどっている状態であります。

従って、臨床の第一線にたずさわっている医師にとって、明快適確なガイダンスは緊急必須のものであり、大変有益な催しでありました。

鎮痛剤、抗生剤、ホルモン剤、抗ヒスタミン剤、等々、各種薬剤別に詳細なる御説明があり、日頃の蒙を啓く点多かったのですが、何分この問題は研究方法に幾つもの制限があり、人体実験は許されず、動物実験も種属特異性あり、個々の薬剤の胎盤通過や、体内に於ける代謝過程、胎児に及ぼす影響、更には遺伝因子とのからみ等、現在、臆測の域を脱し得ない点が余りにも多く、講演を終って、今後の研究の飛躍的進展を望むこといよいよ切なるものがあります。

時宜を得た 眼底検査研究会

今回のようなヘルス事業開始に伴って必要になった「眼底検査法」などをテーマにすることは大事であり、良い企画と思います。このようなトピックのない時は、系統的に「肺疾患」「心疾患」「胃腸疾患」「肝疾患」……というテーマにして、

(金沢市 内科)

理事会だより

(5月11日)

〔協議事項〕

- 一、第九回定期総会の準備
- (1) 総会議案の最終確認
- (2) 記念講演の参加者対策
- (3) 会員作品展への応募状況
- (4) 協会協賛会社の申込み状況
- 二、総会当日の進行と任務分担
- 三、五一六月組織拡大月間の対策

(1) 医科十名、歯科四名を目標とする。

(2) 新規開業医や代替り、協会活動への協力者に対し、協会役員からの紹介や説得と事務局訪問により会員増加をはかる。

(3) 休保・グループ保険の普及と結合した対策

(4) 県内五会場で開催準備の中で、地域毎の入会率を高めていく。

〔会務報告〕

一、共 済

(1) グループ保険第三次募集の計画

保険金五〇億突破はもとより会員の加入率五〇%以上とするために五十五名の加入を目標とする。担当地域は三社均等割とし、金沢市内は一部変更となるがその他の地域は昨年通り。

(2) ガソリンのクレジットカードの斡旋の件

日本石油系列のスタンドならば全国統一価格で市価より安く給油できるといいう条件であるが、まず会員の

ガソリン価格の実状とニーズ調査をしたうえで取扱いを決める。

二、保 険

(1) 老人保健法実施後の実際の影響と対策について再度病院アンケートを実施する。

(2) 本年六月から社保・国保とも審査委員が改選となるため、改めて審査の実態に関するアンケート調査を行う。

三、機関紙・文化

(1) 本紙六月号は創刊以来、百号を迎えるので次の特別企画をすすめる。

五月度編集会議は百号記念の座談会とする。

・創刊号から百号までの歩みとその時期のトピックス、新企画を中心に編集する。

・五十一号から百号までの合本を五〇冊つくる。

(有料販売)

(2) 秋のレクリエーション

第七回家族・従業員旅行企画

これまで六回の参加医療機関(三十一ヶ所)を対象に三つのプランにもとづくアンケートを依頼したところ、「宝塚観劇と神戸市内散策コース」が回答の半数以上を占めたため、次のように決定する。

日程 十月九日(日)、十日(祭)

日(祭) 先行 宝塚観劇、六甲山 北野異人街、ポータワー 定員 四十五名 ※ 詳細は次号以降に紹介されます。

診療報酬明細書 昭和57年 11月分

医療機関コード

保険者番号	
診療科目	
診療日	

氏名	明大 37年生
性別	男
職業	不明
病名	肺炎、咽頭炎、蛋白尿、気管支炎
初診	57年11月1日
再診	57年11月1日
退院	57年11月1日
治療	7X14
薬剤	スルピリン 0.8g リン酸コチン 100倍散 6g 酸化マグネシウム [重質] 0.8g パカシル錠 250mg 4T ベクタイト錠 100mg 4T ポラミン錠 6mg 4T ヘパレA 4T スパンタックカプセル 250mg 4C
検査	120X4 25X1 94X1 17X1 60X1 140X1
手術	
合計	1,057点

今回も返戻レセプトを取り上げました。
症例は、リンコシン注が「過剰」との事由で返戻となり、主治医は、その使用理由を書いて再提出しましたが、減点され、再審査請求をしたにも拘わらず否定されました。
〔主治医の意見〕
本症例は従来から胃腸が弱く、感染症に対しても抵抗力が弱く、この時にも四〇〇Cの発熱が二日間あり、摂食不可

〔第 50 例〕



不可解な 減点・査定

能であったので、やむを得ず当初から抗生剤の注射を行ない、摂食可能となつてから経口剤を服用するように指示しました。こうした理由を書いたにもかかわらず、全く無視され、減点されたのは、どうも不可解です。
〔内科医A〕

〔内科医A〕

このレセプトを見る限り、リンコシン注が過剰とは思えませんね。むしろ、一度の来診で治ってしまったのは患者さんにとっても良かったのではないのでしょうか。
〔内科医B〕

先日、私のところでも気管支炎にパカシルを使用していた一向に良くならず、一週間後に、胸部X線写真で「気管支肺炎」に発展した症例を経験しました。
〔内科医B〕

(保険部)

〔内科医A〕

そうですね、抗生剤も中途半端な使い方をすれば、初期のうちには充分量使った、いておいた方が良いでしょう。
第一線の医療では、原因菌の確認を待たずに間合合わないことがありますね。起炎菌が判った頃には病気が治っていたり……。
〔内科医B〕

この症例も、咽頭炎に対してパカシル、気管支炎に対してリンコシン注と、それぞれ臓器親和性の高い薬剤が使われているのは適切だと思えます。

保険診療の知恵

心電図及び脈波の検査はスクリーニングの場合
(1) 心不全の所見のあった場合
夫々月何回まで保険請求できるか、また入院している場合はどうか。
ア、イを含めて一般論として

心電図及び脈波の検査回数

て、検査について月何回位まで保険請求できるかという問題は、診療の自由の確保、一方には減点査定等の不快なケースバイケースに実施されたい。
(1) 心電図は毎月夫々に一回の場合、二〜三ヶ月に一回の場合、色々あるようだ。
脈波検査の頻度は心電図より少いように見受けられる。
(2) 心電図に関しては月に二〜三回という場合もあるだろう。
入院の場合、通院時より回数が多くなるのは当然の結果であるが、脈波に関しては総合病院の循環器内科でも、あまり頻回の実施は見受けられないようである。
〔県医師会「保険診療のしおり」より〕

優生保護法

「改正」の根拠崩れる

厚生省は当初、優生保護法「改正」の根拠として地方議会での「改正」推進決議の多いことを上げていたが、現在では地方議会での「改正」反対決議の数が、「改正」推進の数を大きく上回っていることが明らかになりました。
県議会で「改正」反対、推進とも一議会ずつ、市町村では反対二二六議、推進二二九議であり、又、国会論議も署名や厚生大臣への要請でも「改正」反対が推進を大きく上回っています。
人工妊娠中絶の許可条件から「経済的理由」を削除するという優生保護法改悪の動きについては婦人団体はじめ日本医師会、日本弁護士連合会など広範な団体、個人が一斉

会員計報

津田三雄先生
石川郡美川町字浜町ノの四六五番地
明治四十一年一月九日生れ
行年七十五才
昭和九年
金沢医科大学卒
同 解剖学教室助手
岩手医専(現、岩手医大) 解剖学教室助教
昭和十二年 応召

津田三雄先生は保険医協会に発足以来の会員であり、これまで、老人保健法や健康法改悪反対の運動はじめ診療報酬、暖房料運動など保険医協会のあらゆる要求運動や会員意見調査には欠かさず協力をお願いしておりました。ここに謹んでお詫み申し上げます。

協会会員・ご家族のみなさまへ

夢にまでみた東京ディズニーランド®とエキゾチックな街横浜でひと味違う休日を!!

ブルートレイン(特急寝台列車)でディズニーへ

旅行費用

大人 ¥59,900
小人 ¥43,700

出発日

7/28(木) 29(金)
8/1(日) 4(木)

第1日 金沢 21:40 (特)寝台 北陸 貸切バス
第2日 上野(朝食) 6:42 ディズニーランド(園内自由行動) 9:00 横浜市内ホテル、夕食 中華街にて
第3日 ホテル 市内観光(山下公園、氷川丸、外人墓地、港湾船めぐり) 港が見える丘公園、元町ショッピング) 市内(昼食)

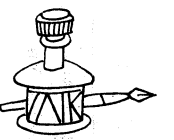
羽田空港 17:00頃 全日空 小松空港 18:00頃

- 内容
- 2名1部屋使用
 - ディズニーランド全ての乗物券つき
 - 横浜中華街での夕食
 - ロマンチック街 元町でのショッピング



お申込みは 日通航空 まで 0762-21-3184 (担当 小出、川崎)

読者から編集部へ



読者アンケートの意見欄

良いと思われる点

- 。何でも言えるところが良い。読み易い。
- 。医療や医学、あるいは保険ばかりでない。生活や趣味についての記事ものっていること。
- 。毎年努力が重ねられて内容が濃くなっていることを感じます。編集者の努力大。
- 。楽しいコミュニケーションの場だと思います。
- 。ニュースや問題点のとりあげが、迅速・適確・公平。
- 。保険医の生の声が紙面に反映される。
- 。身近な問題をそれに対応する身近な方々の意見としてとらえることが出来るので大変結構だと思います。
- 。会員の随想(旅行記など)、舌づつみ等の紹介記事が外国旅行や食へあるののできない(貧乏暇なし) 小生に

は大変おもしろい。編集が良く読み易い。身近な問題をタイム・リリーに取り扱っている。開業医と医療行政あるいは

地域への働きかけ等、最新の情報と考え方が比較的良好に分かり易くまとめられている。読み易いと思います。

改善すべき点

- 。政治的反対意見の見出しや記事が目立つ。
- 。不満ばかりの記事が目立つ。
- 。生活が苦しいから値上げしる等、物ほしげな記事・表
- 。漫画があれば、なお良いと思う。
- 。記事のニュース性、広汎性がまだ一歩足りない。
- 。医療界(県内の)のニュースも、もっとたくさんある

。政治的反対意見の見出しや記事が目立つ。

。漫画があれば、なお良いと思う。

。保険医のみが読むもので良いのではないかと。

。二兎を追うものは一兎も得ず。

。従業員に読ませる場合は、特別号を編集した方がよい。

。物ほしげな記事は読ませたくない。

。別紙にしたら良い。折り込

奥様や従業員向けの紙面は

はす。県・市医師会に対する批判が全くない。御用新聞か?

。記事・内容がバラバラで統一されていないという印象をうける。

。他県の保険医新聞に比べ、内容的にまだ未熟である。

。あえて中央なら「新聞」としなくともよい。

。小さくてもよい。

。記事の長短を考えること。

。生きた写真がもう少しほしい。

。全体の割付けや見出しにドロ臭いものがある。九十六号のルー・マニアのデータグラフは、せつかくの情報量が縮小しすぎて大変見難いものになった。乞一考。

。一人一人の開業医はそれぞれ自分なりに工夫を凝らし、日常診療を行っている。それは診療上の工夫から待合室の装飾、待合室の本、往診カバンの中味、診療道具の小物、文具にいたり、カルテ(私製の)、建物や診療室の種々の配置までもである。諸先生方の御自慢の「工夫」を御披露していただくものは如何なるものであろうか。あまり金のかかった贅沢(成金)趣味の御披露は御遠慮いただきたいと思ひます。

。編纂部の方々は、御多忙の中、大変ご苦勞様です。極めて専門的なことより、プライマリ・ケア・フィジシャンとして必要な学問的知識・考え方を導くような企画をしてほしい。

。ジョン・フライの文献や、アメリカ家庭医学協会の文献など。

今後の新聞編集に望むこと

。日医と保険医協会の存在に次第に疑問を感じるようになった。保険医協会の方は本音まるだして行くべきだと思っている。

。従業員給与、福利厚生、ボーナスなど先生方ほどの様になさっていられるかアンケートをして下さい。他の病医院の水準・方針などを参考にさせて頂きたいので。文章を簡潔に且つ平易に。

。『保険診療の知恵』が非常に参考になる。日常行っている、つい忘れて点数をつけてないことがあるので今後共々どしどし紹介していただきたい。

。保険のことばかり額にしわを寄せて考えていても世の中全体が医療費抑制に動いているのでどうしようもない。医者の立場からだけの考え方のみでなく、医師でない方達が素直な気持ちで現在の医療や保険についてどう思っているかを知りたい。参考になる。

。石川県における医療情勢の記事がほとんどない。石川県の福祉施設めぐりを載せてほしい。各部会の動きをもっと載せる。カットが少ない。病院の診療予定案欄などいかが? 心よく協力してくれるはず。

。Q&Aを充実させる。

。『石川医報』あるいは「医師会だより」のような体裁になりませんか。「新聞」は大きくて保存に困る。医療人以外の「医療に対する希望・批判」等を毎月特定の枠を定めてシリーズとして載せるのはどうか。

。歯科関係のものを、どんな小さなものでもよいから、例えば、歯科関係の行事案内でも良いから掲載したらどうでしょう。

。会員への直接インタビューとか、足まめにルポした記事が少ない。もう少し生々しく感じさせるものがほしい。

読者アンケートに答えて

。過日御協力いただきました「読者アンケート」の結果は本紙九十七号で発表致しました。『意見欄』に色々な御意見が記されていきましたので編集部よりお答え出来るものについて、お答えしたいと思います。

問2. (1)良いと思われる点に関して、私達編集者一同おぼろげな感じのするほどのほめ言葉をいただいたものもあり、今後一層の励みになりました。しかし一万、(2)の改善を要する点については、なるほど今後は改善しなければならぬと実感する建設的御意見も多くあり、参考にさせていただきます。

。その中でも「不満の記事が多い」「ユーモアに乏しい」

「記事のニュース性、広汎性が足りない」「生き生きとした写真(報道性の高い)が少ない」など、日頃私共が考えている点をスバリ指摘された御意見を見ますと石川協会紙もまだまだと思ひ

現する義務がある点から、多少やむを得ないことかと思ひます。

問7. 日頃、本紙に対して感じている点、又、企画などに御意見・提案については、例えば、「従業員

療されている先生方の工夫、苦心、自慢など、例えば待合室の本、私製カルテ、診療用具などの紹介」は皆さんのためにもなる有意義な企画だと思ひます。その他新聞制作上の技術面の御意見

見とか「政治的片寄りがあふ」などの意見があまり見られませんが、石川協会紙は常に政治的には中立で医療のためになされる行政で、その良否について厳正な検討を重ねて記事を作製しております。

員の給与、福利厚生、賞与などの一般水準を知りたい」とか、「石川県の医療状況をもう少し詳しく報道せよ」などは今後ぜひ実行していきたいと思ひます。又、面白い企画として、「日常診

見とか「政治的片寄りがあふ」などの意見があまり見られませんが、石川協会紙は常に政治的には中立で医療のためになされる行政で、その良否について厳正な検討を重ねて記事を作製しております。

。石川県における医療情勢の記事がほとんどない。石川県の福祉施設めぐりを載せてほしい。各部会の動きをもっと載せる。カットが少ない。病院の診療予定案欄などいかが? 心よく協力してくれるはず。

北陸体力科学研究所

小松市内に来春完成

芦城病院 郡谷 一平

高令化社会、社会の複雑化、機械化、栄養の過剰摂取による文明病等さまざまな社会問題をかかえて、今までの医学をより前向きにということ

各地で健康体力づくりが盛んに話題となつています。しかしながら、自分の体力づくりは、どの程度の強さで、どれくらいの時間、どんな種類の運動をしたら良いか、という基本的な運動処方という問題にぶつかります。又、運動処方にもとづいて具体的指導体制も問題になります。さらには、スポーツが一般化するこ

とにより各種のスポーツ障害の多発が大きな社会問題にな

つてきています。そのためには、今までの予防・治療・リハビリテーション医学を包括して、医学と体育学をドッキングさせる考えが必要で、問診・メディカルチェック・運動負荷テスト・体力テスト・運動の処方・運動の指導を科学的に考えることが必要です。個人個人の体力と体質と体調を科学的に客観的に把握して、運動と栄養と、保養と生活をプログラムして処方するということが必要です。

石川県では昭和六十年には高校総体、昭和六十一年には国体を控え、科学的な選手トレーニング及び強化もぜひ必要です。

私達は、時代の要請を受けとめ、広く一般の健康維持・増進、さらにはスポーツ選手

の強化にまで幅広く社会に役立つことを確信すると共に協会の先生方の絶大なご支援をお願い致します。

(財団法人北陸体力科学研究所事務局長)

に約五千坪の敷地内に、第一期工事として、総面積約千坪のプール、トレーニングジム、ランニングロードをそなえた研究棟、第二期工事として、全天候の土の体育館を計画し、来春完成の予定です。計画地は、木々の緑の美しい丘陵地で、温泉もあり、近々、交通の要所となる地です。

おやささん自ら、山で手折ってきたお茶花の一輪、それにあたりの静けさが、疲れた心をいやしてくれる。

金沢に来ると必ず「しお路」を御指名の友のいることも一言書き添えて、御紹介とします。

(宮村明子)

保険医健康合宿に参加して

4月29日～5月1日

肌寒さを感じる高原のすがすがしい朝を迎え、ストレッチ体操の後、ジョギング、二十分程走ると、こちよく汗ばむ。

長野市善光寺よりバスで約

三十分、飯綱山のふもとの大座法師池の近くに全国の保険医、三十八名が参加され、体力テストを含め、実技と順天堂大学の石河先生、新日本体育連盟顧問の稲垣先生の講義の両面から、体力づくりを身をもって体験しました。

新緑の高原宿舎のまわりは、桜、山吹、こぶし、水芭蕉、りんご等、ピンク、黄、白と季節を忘れた様に一度に花開き、すばらしいキャンパスを描いている。

木々の間や朝もやの立つ池のまわりを軽いジョギング、その後、テニスの初心者クラスで、イ・ロ・ハから試合まで指導を受け(他にハイキング、卓球コースあり)、さわやかに汗を流すことができました。各地から参加された先生方のお話しをお聞きしても、健康体力づくりの気運が今や高まっていることがあらためて感じられました。

(郡谷 一平)

文化部だより

おやささん自ら、山で手折ってきたお茶花の一輪、それにあたりの静けさが、疲れた心をいやしてくれる。

金沢に来ると必ず「しお路」を御指名の友のいることも一言書き添えて、御紹介とします。

(宮村明子)

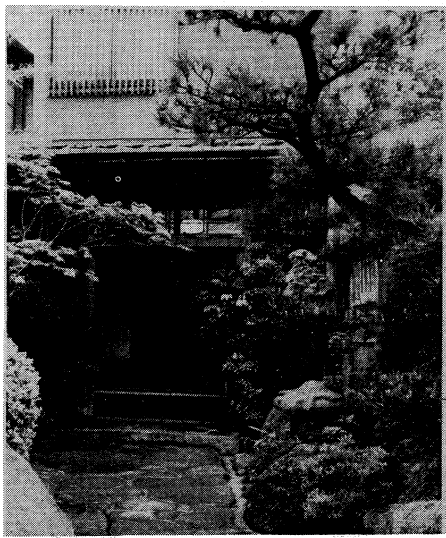
第四回食へ歩き会は六月十七日(金)午後六時半より「しお路」にて奥様方を中心に開きます。ご希望の方は協会事務局までご連絡下さい。

(公費 一〇,〇〇〇円)

お譲りください

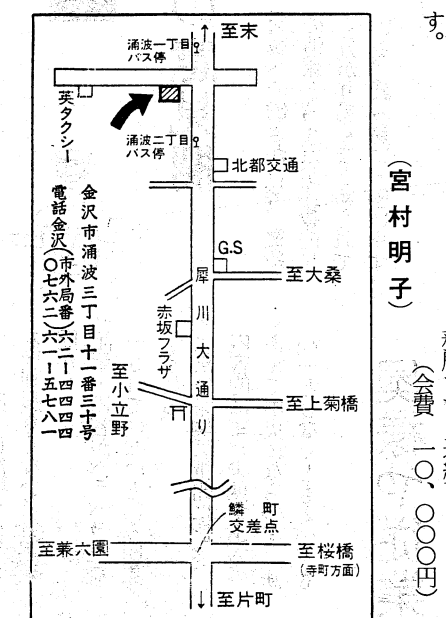
(郡谷 一平)

しお路



風情あふれるしお路の玄関先

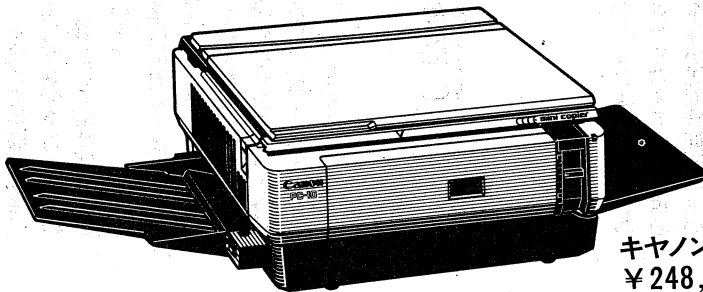
「どうやったらお客さんに喜んで食べてもらえるかと、何時も工夫しています」との主人の言葉。美男の二人の息子と、真心のこもった四季おりりの料理を食わせてくれる。喧噪の片町からのがれて、涌波へ小綺麗な料亭を新築して四年。茶懐石料理のみならず、家族で楽しめる料理も出してくれる。



おだやかな女将の、もの腰。

私は先日、キャノンのミニコピーPC-10を購入し、とても重宝しています。ミニコピーは普通紙用コピーでありながら、従来機と違ってスペースを取らず(カルテ3枚程)、場所を選ばないのが助かります。現在、患者の紹介時には、データのコピーを添付し、カルテの書き換えや、院内の予定表にもコピーを利用してあります。これまでは手書きのため時間も相当かかったのですが、コピーを使うことにより短時間で済むようになりました。さらに患者への流行病等のお知らせにも活用して、たいへん喜ばれております。今後は保険証の手書きによる転記ミスをなくすため、コピーの利用を考えてあります。

(金沢4区、K先生談)



世界初の3色コピー

キャノンミニコピーPC-10 自動給紙もOKの
¥248,000 キヤノンミニコピーPC-20 ¥298,000

協会々員に限り、特別奉仕価格!!



←お問い合わせは
石川県保険医協会
TEL (0762) 22-5373
株式会社 丸菱
TEL (0762) 37-8811
内線26番 橋場まで